

第2回 鮭川流域安全パトロール 「死亡災害ゼロ」！365日

鮭川出張所では、10月26日(木)に安全パトロールを行いました。新庄河川事務所・労働安全コンサルタント・工事関係者が参加し、「角川・銅山川流域砂防施設補修工事」「最上川中流鮭川地区維持工事」「鮭川流域小又川砂防堰堤工事用道路工事」「鮭川流域布引沢砂防堰堤工事」「鮭川流域入水ノ沢砂防堰堤工事用道路工事」の現場事務所や工事現場を点検しました。(第1回 鮭川管内工事安全パトロールは7月7日(金)に行っています。)

安全パトロールとは？

工事の労働災害を未然に防ぐことを目的として、毎年実施しています。発注者と請負者が合同で行い、それぞれの視点から安全を確認し、事故や災害につながる要因を早期に発見・改善して作業現場の安全確保と快適な現場環境を目指すために行われています。

工事概要説明

安全パトロールを行う前に、現場担当者が工事概要説明を行います。

現場事務所の点検

掲示物・工事書類が適正かどうかを確認します。

現場パトロール

実際に工事現場に行き、作業が安全に行われているか、労働災害に繋がる点はないかを確認します。

意見交換

点検後、気付いた点・良かった点等の意見交換を行います。



堤防モニタリングを行いました！

9月29日(金)・10月5日(木)に鮭川出張所管内の堤防モニタリングを行いました。

堤防は洪水時に河川水が住宅や農地などへ流れ出すことを防ぐ最も重要な河川施設です。経年変化による老朽化や、出水等の自然災害によって損傷してしまうおそれがあるので、堤防や河川敷に異常がないか点検を行います。



堤防や河川敷を歩きながら異常がないか確認します。



イタドリが群生している箇所に貫入棒をさし、その深さを確認することで堤防の土の強度を点検します。



堤防の状況を確認し、補修が必要かなどを調べます。



樹形計測をしています。

令和5年度オイルフェンス組立等訓練

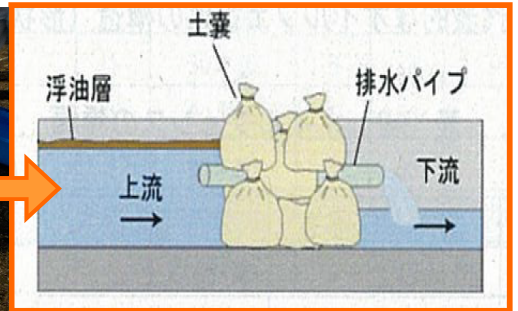
10月18日(水)に大石田町の丹生川(丹生川大橋下流)にて、オイルフェンス組立等訓練が開催されました。当日は、国土交通省のほか、山形県・市町村などの関係者が参加し、水質事故が多発する冬季期間に備え、万が一の際に迅速な対応が出来るよう各種の技術の習得・訓練を行いました。



道路上等での油回収訓練



側溝での油回収訓練
(水路等で水の流れる場合の対応)



水路での油回収訓練



斜め横断工法訓練



吸着フェンスの繋ぎ方訓練



オイルフェンス組立訓練

フェンスの端同士を重ね合わせてファスナーを閉じた後に、金具についているスナップも閉じて金具を固定します。



オイルフェンス設置訓練
(横断工法)

オイルフェンスが短いと、河岸付近が浮き上がり、油を堰き止められないため、オイルフェンスは長めに接続します。

今月の風景

～ 鮭川出張所管内をめぐる～

時代は大きく変化しても、止まることなく流れ続ける川。その川に沿って街をめぐり、その街の風景などを紹介していきたいと思っております。第6回目は真室川町の梅里苑からの眺めを紹介します。



真室川町の高台にある温泉施設「梅里苑」からは金山川や平岡橋周辺の田園風景が見下ろせ、天気の良い日は月山や葉山が一望できます。また、真室川町の指定緊急避難場所・指定避難場所になっており、地域の方々の癒やしと安心・安全の施設となっているようです。



2021年撮影 月山

お問い合わせ

国土交通省 新庄河川事務所 鮭川出張所
〒999-5203 山形県最上郡鮭川村大字川口字鶴田野3018-4
TEL 0233-55-3020 FAX 0233-55-3083

HP: <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/>
広報紙担当: 齋藤・小野
広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。